SINCE 1981
ORDER MADE JEWELRY

K.UNO NEWS LETTER

Vol.19

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月１回、ケイ・ウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。

さまざまなジュエリーの悩みを解決して多彩に楽しんでいただくことをお手伝いしたいと思います

島みずき

ケイウノ　コンシェルジュ
東京都出身。2003年入社。入社以来、コンシェルジュとして多くのお客様に
ジュエリーの魅力を提案し続けている。
ジュエリーリモデルカウンセラー1級認定者

今回は7月31日にケイウノ自由が丘店で行われた「ジュエリーのリフォーム相談会」のレポートをお届けします。

近年、ケイ・ウノでは「母から譲り受けたダイヤモンドリングがあるが、デザインが古くて使えない」「祖母の形見のジュエリーがたくさんあるけど、どれが本物かわからない」など、宝石・貴金属の整理や処分などのご相談をいただくことが増えてまいりました。

ジュエリーを宝飾品としての価値だけでなく、それにまつわる「人」に対する想いや記憶を有する宝物であると考えるケイ・ウノでは、「ジュエリーのリフォーム」をおすすめしています。

しかし、ジュエリーリフォームの実態はあまり知られていないのも事実。そこで、お客様にご持参いただいたジュエリーを前に、リフォーム相談はどのようなものなのか、実際にケイ・ウノスタッフが対応させていただく様子を、メディアの方々にもご覧いただくという形で相談会が始まりました。

ジュエリーにしのばれる
所有者のお人柄

相談会当日。メンバーはジュエリーをお持ちいただいたお客さまKさん、メディア関係者2名、そしてケイ・ウノからはコンシェルジュ島とデザイナー川田という構成。

テーブルにはKさんがご持参くださったお母さまの形見というジュエリーがずらりと並び、そのボリュームと豪華さは思わず感嘆の声が上がるほど。

島は、ケイ・ウノで16年目を迎えるコンシェルジュ。「ジュエリーリモデルカウンセラー1級認定※」の資格を持っています。

長年、ジュエリーリフォームに携わってきた島が思うのは、「ジュエリーをリフォームすることは素敵な生き方につながる」ということ。

リフォームについて語るコンシェルジュ島

当日お持ちいただいたジュエリーの数々

「素敵な生き方というと、少し大げさに聞こえるかもしれませんが、リフォームしたジュエリーを身につけることで、ふとした時に譲ってくださった方々に想いをはせたり、感謝をしたりすることができる。それは素敵なことだなと思うんですね」

確かに、この日テーブルに並んだジュエリーの数々を眺めているだけでも、Kさんのお母さまの姿が浮かんでくるような気もします。記者のお一人からも「お母さまには実際にはお会いしたことがないのに、こうしてジュエリーを見ているとお人柄がしのばれて、なんだか親しみがわいてくる気がします」という感想も…。

ジュエリーのお悩み。わからない・合わない・使えない・好みじゃない

ご協力いただいたKさんによれば、「母の形見は大切ですが、全て取っておいたところでこのままでは使えません。でもどれを残せばいいのかわからないし、いいなと思うものがあっても、つけ方がよくわかりません」とのこと。

そこでお悩みをざっくり分けると、次の4タイプになりました。

1：貴金属が本物かどうかわからない
2：サイズが合わない・留め具が壊れている・チェーンが切れている
3：デザインは嫌いではないが、コーディネートがピンとこない
4：デザインが古くて好みに合わない

一つひとつのジュエリーに向き合って悩みにお応えしていく

これに対して、島は「使うか・使わないか」を一つずつヒアリングしながら進めていきます。

1については、刻印などを見ながら貴金属かそうでないかを見極めていきます。ケイ・ウノで判別できるものはその場で、わかりにくいものはお預かりをして鑑定機関に出して鑑別します。ちなみに、ケイ・ウノでの判別は無料。

「お持ち込みいただく量に関わらず、ケイ・ウノで判別する費用はかかりません。どれを持っていっていいか悩むといった場合は、どうぞまとめてお持ちください」と島。

ペンダントはチェーンを変えることでイメージが変わる

なお、貴金属と判明した後ジュエリーとしては不要という場合は、ケイ・ウノで買い取り、再利用が可能です。お得な特別制度もあるのでぜひご相談を。また、石については、ケイ・ウノでお預かりして専門の外部機関に判別を依頼することも可能です※※。

次は2。指輪のサイズが合わなかったり、壊れていたりするものは、たいていの場合修理することが可能です。留め具やチェーンを新しくすることでずいぶん印象が変わります。また、ネックレスは長さによってもイメージが変わるので、チョーカー風に短くしたり、間にパールや雰囲気の異なる金属をはさんで長くしてみるのもおすすめとのこと。

3の場合はつけ方自体をアドバイス。例えば、色が濃いめで顔が暗く見えてしまうというネックレスには、パールなどを重ねづけすることで華やかな印象に。時には、ジュエリーに合わせた洋服のコーディネートをすることもあるそうです。

ケイ・ウノのリフォームは、ジュエリーを判別・修理をするだけでなく、つけ方やスタイリングなどもアドバイスさせていただいています。

コーディネイトをアドバイス中

写真中央のマリッジリングをもとに、彫りや宝石をあしらったデザインをご提案

さて、リフォームに関して最も多いお悩みは4。ジュエリーには流行があり、レトロなものが逆に新鮮ということもありますが、そうでない場合の方が多いようです。

プレーンなリングに彫りを施したり、石を活かしてデザインを新しくしたり、ジュエリー自体をリフォームすることはもちろんですが、島が提案するのは、複数のジュエリーを組み合わせて新しくジュエリーをつくり出すこと。

「それぞれのジュエリーを個別にリフォームすると個数が多くなって費用がかかるため、小さなペンダントトップの石を組み合わせて、1つのリングやブローチにしたり。組み合わせて新しい魅力を発見するのも、リフォームの新しい楽しみ方としておすすめです」

人それぞれのジュエリーの楽しみ方をお手伝い

島が様々な手法を提案するなか、デザイナー川田はその場でリフォームのデザイン画を次々と提案。お客さまのジュエリーを拝見し、要望を伺いながらデザイン画を起こしていく、この手法はケイ・ウノ独自のもの。デザイン提案をしながら、島と共につけ方のアドバイスも行います。

例えば、洋服とのコーディネートについては、「ラウンドネックのトップスに、同じようなラウンドのネックレスだとなじみ過ぎてぼやけてしまいます。なので、シャープな印象のボートネックに合わせることでネックレスが際立って、印象ががらりと変わります」という具合。デザイン画を熱心にご覧になっていたKさんから、「これは私の好きなデザインですね」とうれしそうな声が上がりました。

ご紹介したように、リフォームの方法は実に多彩。ケイ・ウノでは、予算や希望によって、さまざまな形をご提案することが可能です。

最後に島からこんなコメントをお伝えし、相談会は終了しました。

「鑑別して仮にイミテーションだった場合、他店によってはリフォームができないというところもあるのですがケイ・ウノはお引き受けしています。

貴金属や石が本物かどうかは、判断基準の一つとして大切ですが、それと想い出とは別なのではと思います。実際に、本物でなかった場合でも、大事な想い出があるから使えるようにしたいという方も少なくありません。でも、その一方で、本物でないのならリフォームのコストをかけたくないという方も。どれが正解というのはなく、それぞれの考え方ですから、まずは本物かどうかはっきりさせることから始めてはいかがでしょうか。

なお、ネックレスのチェーンがうっかりからまってしまってほどけないといった場合もどうぞお気軽に。

多彩なお客様の多彩なジュエリーにお会いできることを、心から楽しみにしております」

お持ちいただいたジュエリーにインスパイアされたデザイン画の数々とデッサン中の川田

※お客様からお持ちいただいたジュエリーの価値を正確に見極め、修理やつくり変えなどを的確にアドバイスできる能力を身につけたものが持つ資格

※※ケイ・ウノ以外の外部機関に鑑別を依頼した場合は、費用が発生します。

ケイ・ウノ　リフォームブログ
https://www.k-uno.co.jp/wp/tag/reform/
これまでのリフォーム例が掲載されています。
ぜひご覧ください。

8月の誕生石　「ペリドット」

赤ちゃんのお誕生を祝うベビーリングにあしらったのは、透明感のあるグリーンが涼しげなペリドット。ベビーリングは最近ご注文が増えてきたジュエリーの一つ。お子様が小さいうちはお母様のペンダントトップにしたり、大きくなったら改めてプレゼントしたり、お子様の成長に合わせて楽しんでいただけます。

2018年8月29日発行　第19号　発行：株式会社ケイ・ウノ　広報：川村　（構成・文：浅井美江）
ケイウノ自由が丘オフィス　〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2－15－22　TEL 03-5731-7847 FAX 03-5731-7852 Mail press@k-uno.co.jp